



にほんまつ
市議会だより

第52号

9月定例会

平成30年11月1日発行

発行：二本松市議会

編集：議会だより編集委員会



決算審査 P.2~3
一般質問 P.8~13
賛否一覧、討論 P.14~15

平成29年度決算を認定しました

9月定例会では、平成29年度各会計決算を審査する決算審査特別委員会を設置し、「市の予算が適正に使われたのか」「効率的に行われているのか」「事業の成果は」など、平成29年度の重点施策を中心に審査しました。審査の結果、全議案「認定すべきもの」として本会議に報告しました。審査の主な内容を紹介いたします。

地域おこし・集落支援事業

Q 地域おこし協力隊員等報酬及び地域おこし協力隊活動支援業務委託料の決算額が予算額に対して少なくなった理由は何か？

A 地域おこし協力隊員等報酬は、岩代1名分、東和2名分であり、また、地域おこし協力隊活動支援業務委託料は、それら隊員の活動する受け入れ団体に支払ったものですが、これらの決算額が少ないのは、募集した人数よりも応募がなかったことによるものです。



道の駅ふくしま東和のレストランで調理に従事する地域おこし協力隊員の樋口陽子さん

交通安全推進対策事業

Q 市民交通災害共済の平成29年度加入率が48.7%であるが、加入率は過去と比較してどのような傾向か？また、本市の支払い状況は把握しているのか？

A 加入率の実績にそれほどの変化はありませんが若干少なくなってきたという傾向にあります。また、本市の支払い状況について、平成29年度では112件、588万円でした。

一般市道整備事業

Q 土地購入費の予算額が150万円に対して、決算額が629万4,000円と多くなった理由はなぜか？

A 市道浮内・細野線の整備において、一部、宅地がかかるということが判明し、また、購入する用地の買収単価を、田、畑で考えていたところが宅地の見込み地となったことから、単価差が生じ土地購入費が多くなったということです。

耐震補強事業

Q 平成29年度で耐震補強が完了していない施設はあるのか？



耐震補強工事が完成した東和中渡り廊下

A 校舎、屋内運動場の本体について、東和中学校渡り廊下耐震補強工事が平成30年度に繰り越ししており、先日完成しました。これで校舎、屋内運動場の本体の耐震補強工事は全て完了となりました。

学力向上推進事業

Q 算数科で非常勤講師を配置し、チーム・ティーチング(TT)方式により取り組んでいる学力向上対策の状況については、どのように分析しているのか？

A 本取組みにより、標準学力検査や全国学力学習状況調査において、近年は安定した成績を残しています。各学校においては、補強すべき教科が異なっているところもあり、今後は各学校長の判断で、弾力運用できるように改善しました。

平成29年度各会計の決算状況

◎一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
429億3,084万円	414億4,353万円	14億8,731万円	10億2,913万円

◎特別会計

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	実質収支額
国民健康保険 事業勘定	72億8,708万円	68億2,883万円	4億5,825万円	4億5,825万円
国民健康保険 直営診療施設勘定	1億552万円	1億510万円	42万円	42万円
後期高齢者医療	5億9,793万円	5億9,681万円	112万円	112万円
介護保険 保険事業勘定	58億5,206万円	56億1,556万円	2億3,650万円	2億3,650万円
介護保険 介護サービス事業勘定	2,615万円	787万円	1,828万円	1,828万円
土地取得	7,108万円	7,108万円	0	0
公設地方卸売市場	1,263万円	970万円	293万円	293万円
佐勢ノ宮住宅団地造成事業	549万円	549万円	0	0
岩代簡易水道事業	1億7,058万円	1億6,994万円	64万円	8万円
東和簡易水道事業	3億2,297万円	3億2,234万円	63万円	7万円
安達下水道事業	2億8,700万円	2億8,700万円	0	0
岩代下水道事業	9,514万円	9,511万円	3万円	3万円
茂原財産区	655万円	620万円	35万円	35万円
田沢財産区	27万円	20万円	7万円	7万円
石平財産区	217万円	204万円	13万円	13万円
針道財産区	190万円	179万円	11万円	11万円

◎企業会計

	収益	費用	損益
工業団地造成事業	0	-	0
宅地造成事業	0	-	0
水道事業	10億5,556万円	8億9,138万円	1億6,418万円
下水道事業	6億3,401万円	6億3,401万円	0円

消防施設整備対策

Q 消防屯所用地で民有地を借り上げているのは何カ所あるか？また、用地を市で購入する計画はあるのか？

A 市全体で101カ所のうち53カ所について借り上げています。なお、建て替え時には原則購入する計画であり、平成29年度建て替えの2カ所についても用地を購入しました。

分科会での意見

市民の生命財産を守るために、必要な予算を確保し、事業を継続すべき。

二本松城跡総合整備事業

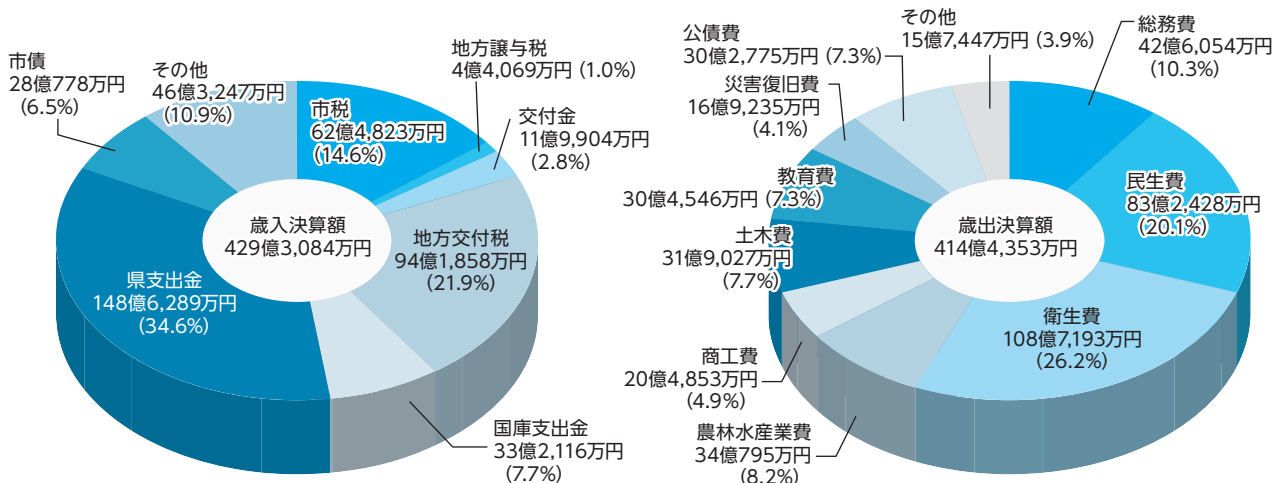
Q 昨年の分科会審査において、拡充継続として再検討すべきとの意見が出ていたが、平成29年度で出した結論は？

A 基本構想の段階では敷地上段に整備予定でしたが、平成29年度において敷地下段への整備予定に変更となりました。現在、基本設計を10月31日完了期日で進めています。

分科会での意見

観光客の利便性や活用が十分図られるように、中身について十分検討しながら、拡充して進めるべき。

平成29年度一般会計決算



市長提出議案は36議案

平成29年度各会計決算の認定、 財産の取得（防災行政無線戸別受信機（防災ラジオ） の購入）などを可決

平成30年9月定例会では市長提出議案36件を審議し、全議案を原案通り認定・可決しました。

決算認定 平成29年度各会計決算は、決算審査特別委員会において延べ6日にわたる審査を行った後、本会議で全ての会計決算19議案を認定しました。

財産の取得 市内全域に整備する280メガヘルツ防災行政無線戸別受信機（防災ラジオ）の取得について全会一致で可決しました。昨年度購入分に続いて、本年度4,000台を追加購入するもので、今までの申込みの不足分と将来申込み分を用意するものです。



追加購入する防災ラジオ

議案第117号 平成30年度一般会計補正予算

高齢者の公共交通運賃無料化事業に伴う準備予算を可決

平成31年4月より実施予定のコミュニティバスやようたすカー・デマンドタクシーなどの運賃を75歳以上の高齢者に対し無料化する施策について、システム導入やパンフレット、カード発券端末購入などの準備予算3,557万円を支出するものとして賛成多数で可決しました。

その他補正予算の主なもの

○太田住民センターの空調機器設置工事費	2, 1 6 9 万円
○合戦場のしだれ桜隣接地の駐車場整備費	4, 0 0 0 万円
○戊辰150年事業補助費	5 0 0 万円
○二本松文化センター法面修繕費	1, 2 0 0 万円

人権擁護委員候補者の推薦

安部 千江子さん（木幡・再任）

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第89号	平成29年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第90号	平成29年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第91号	平成29年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第92号	平成29年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第93号	平成29年度二本松市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第94号	平成29年度二本松市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第95号	平成29年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第96号	平成29年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第97号	平成29年度二本松市東和簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第98号	平成29年度二本松市安達下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第99号	平成29年度二本松市岩代下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第100号	平成29年度二本松市茂原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第101号	平成29年度二本松市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第102号	平成29年度二本松市石平財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第103号	平成29年度二本松市針道財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第104号	平成29年度二本松市工業団地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第105号	平成29年度二本松市宅地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第106号	平成29年度二本松市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
第107号	平成29年度二本松市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
第108号	二本松市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第109号	二本松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第110号	二本松市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第111号	二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員に係る基準、指定地域密着型サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第112号	二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第113号	二本松市介護保険法に基づく指定介護予防支援事業者の指定の要件並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第114号	二本松市介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第115号	二本松市営住宅設置条例及び二本松市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第116号	財産の取得について	原案可決
第117号	平成30年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第118号	平成30年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第119号	平成30年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第120号	平成30年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第121号	平成30年度二本松市土地取得特別会計補正予算	原案可決
第122号	平成30年度二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算	原案可決
第123号	平成30年度二本松市岩代下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第124号	平成30年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第5号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業の適正化・活性化の推進を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第7号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業の適正化・活性化の推進を求める意見書提出に関する請願	採 択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算、財産の取得等について

問 子ども医療費の助成及び重度心身障がい者医療費の給付に関する事務で、新たに個人番号を利用する事務とは何か。

答 県補助事業の所得要件の確認のために、市民税の課税に関する情報を利用するものである。

問 防災ラジオの購入台数は合計で何台か。また、現在市民からの申込台数は何台か。

答 購入台数は、平成29年度の9,000台と今年度の4,000台で合計1万3,000台である。また、現在の申込台数は9,098台である。

討議 自然災害が多発する現状において、行政のお知らせはもとより、防災情報の的確な提供を行うため、遅滞なく契約及び納品等を進めるべきである。

問 太田住民センターの空調機器設置工事について、どのような経緯で設置することとしたのか。

答 東和ロードレース大会に使用する施設であり、猛暑の中行われた今年の大会の反省から、来年の大会までに設置する必要があると判断したもので

ある。

問 空調設備の設置状況及び今後の整備計画は。

答 現在、空調設備は事務室及び児童室にあり、今回、大ホールに設置する計画である。中ホールに設置する計画はないが、中ホールで開催していた会議等についても必要に応じて大ホールで開催できるものと考えている。

討議 現計画では天井型の設備とのことであるが、置き型に見直すことで費用を抑え、予算の範囲内で中ホールにも設置できるよう再検討すべきである。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

一般会計補正予算等について

問 生活道路整備費補助について、今年度の申請件数と地域別の内訳はどうなっているか。また、補正後の予算で何件分対応できるのか。

答 今年度の申請は、二本松地域8件、安達地域1件、岩代地域3件、東和地域3件の計15件となっており、補正後の予算で、ほぼすべてが対応可能である。

問 生活用水確保補助金は、給水区域内においても、今年の猛暑のような自然現象により井戸が出なくなった場合にも対象となるのか。

答 基本的には、水道未普及地域における井戸ボーリングに対する補助であるが、給水区域内であっても本管からの距離があまりにも離れている場合には、認められるケースもある。

問 合戦場のしだれ桜周辺の駐車場整備は、当初予算で措置されていなかったが、予定は当初からあ

ったのか。

答 総合計画において、平成31年度設計、平成32年度造成で計画をしていたが、来年度に全国さくらシンポジウムが開催されるため、開催前に前倒しで整備する計画とした。

討議 近隣の平坦な民地をお借りするなど、整備方法については再度検討し、無駄のない予算執行に努めてほしい。



現地調査の様子（合戦場のしだれ桜周辺整備事業）

9月6日に付託された各議案は、9月11日から12日の各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日26日の本会議で各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。
各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

問 新たな共生型地域密着型サービスとは、どのようなものか。

答 一つの事業所で障がい者福祉サービスと介護保険サービスを一体的に行うことができるサービスであり、これまで障がい者福祉サービス利用者は、65歳になると介護保険サービス事業所に移らざるを得なかったが、登録事業所であれば、同一施設で継続利用できるようになる。

問 高齢者の公共交通運賃無料化の費用について、積算はどのようになっているのか。また、旅客業など他事業者のリスクについて、どうしていくのか。

答 運賃の費用補填については、今後の財政負担の試算として、現在の事業者売上実績の3分の1程度、2,580万円と推計している。また、リスクについては、総務部と連携を図りながら、事業者及び地域公共交通活性化協議会で協議し、進めていきたい。

問 保育対策総合支援事業については、どのような事業に対する補助か。

答 「午睡（ごすい）チェッカー」という昼寝中の子どもの動きを検知するセンサーが付いた機械の導入経費の補助であり、昼寝中の突然死を防ぐために、幼児の状態を確認する保育士の負担軽減に繋がるものである。



机上審査の様子

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

9月定例会では、平成29年度各会計決算を審査するため決算審査特別委員会を設置しました。

9月14日、18日に、全体会で机上での総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。

審査の主な内容は、2～3ページをご覧ください。



決算審査特別委員会全体会の様子

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月6日、7日、10日及び11日の4日間にわたって行われ、17人の議員により、活発な議論が展開されました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。
スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画中継をご覧いただけます。

[発言順]



佐久間 好夫

[真誠会]

空き家対策は

中規模工業団地の適地調査時期は

- 問** 空き家対策とその固定資産税未納状況を伺う。
- 答** 空き家の賃貸や売却は「空き家バンク」登録とウェブサイト及び「田舎暮らしの本」等の情報誌でPRし、移住定住者への情報提供を図る。固定資産税未納額は未把握である。
- 問** 長命工業団地の進捗状況と中規模工業団地の適地調査時期を伺う。
- 答** 計画どおり平成31年度内に造成工事が完了する。東和・岩代地域への中規模工業用地確保は、企業のニーズに対応し、企業立地動向を

- 注視しながら、適地調査を行う。
- 問** 東和地域の市道整備について伺う。
- 答** 新総合計画の生活幹線道路整備事業に北戸沢線、針道・西谷線は組入れ済み、祭田線・五反田線は現地調査のうえ整備検討する。
- 問** 減容化事業に係る運搬経路を、特に東和地域の市民に示すべきでは。
- 答** 環境省が現在検討中で今年度中には策定予定のため、後に示すこととなる。

学童保育と病児保育の方針を伺う

中心市街地商業活性化基本構想の制定



斎藤 徹

[市政刷新会議]

- 問** 学童保育所にて、高付加型民間サービス（塾・英会話・ピアノ等）を行う予定はあるか。
- 答** 異年齢の児童が一緒に取り組めるものについては、外部講師の招へいも考えられる。
- 問** 本格的な病児保育の病院併設型や園併設型の考え方は。
- 答** 私立の認定こども園において病後時保育を検討している事業者があり本事業の実現に向け支援をする。
- 問** 中心市街地商業基本構想（案）制定において

- 他産業の意見の取り入れや街づくり会社等との協働についての考え方は。
- 答** 高齢者アンケートの実施と他産業の意見を取り入れる。他団体との協働については商工会議所・NPOまちづくり二本松と協議し今後の検討課題とする。
- 問** 市事業者支援制度の複数利用は出来ないか。
- 答** 基本的に認めていない。予算内で幅広く支援をするという趣旨であり、今後、より良い支援制度のあり方などについて検討する。



坂本 和広

[真誠会]

問 (仮称) 二本松電力設立の進捗状況は。

答 本年7月に発起人会を設置、8月には120名を超える市民の皆様のご参加のうえで、市民会議を開催し、市民電力の必要性等について理解を進めていただいた。今後、市としての協力体制を検討し事業進捗についてサポートしていきたい。

問 今後の人口減少対策の一つとして、発電電力をより安価で子育て世帯に供給できる施策検討の可否は。

再生可能エネルギー事業の取組みは

二本松駅南口開発事業の状況は

答 (仮称) 二本松電力が将来的に電気の小売事業を行う際には、できる限り安価な電気供給を期待している。

問 二本松駅南口に改札口の設置計画は。

答 只今、実施設計業務を発注したところだが、現時点で二本松駅南口改札の設置計画はない。

問 ポケットパークの設置やベンチ設置計画は。

答 ポケットパークの設置やベンチ設置計画について、現在進めている実施設計の中で検討していきたい。

小学校の英語授業はどうなる

上川崎和紙の未来は

問 2020年に本格導入される英語授業の対応は。

答 小学校5年生、6年生の外国語活動は、「外国語科」として教科化され年間70時間実施、小学校3年生、4年生は外国語活動として年間35時間実施。本市では、3年生以上で実施している外国語活動の授業全てに外国人講師を業務委託により派遣し、担任教師を主担当としてチーム・ティーチングで授業を行って充実を図っている。2020年以降も外国人講師が担任と共に児童が学びやすい授業を推進する。



安齋 政保

[市政会]

問 世界的なデザイナー、コシノジュンコ氏とのオリジナル商品の開発や商品の販売は。

答 平成29年度福島県クリエイティブ伝統工芸創出事業に参加し、コシノジュンコ氏により助言・指導を受け商品を開発。ランチョンマット、色紙、掛軸を商品化し、東京銀座、日本橋ふくしま館ミデッテ、南青山のコシノジュンコ氏のブティックJ・K本店などでも展示・販売が行われており、また、コラッセ福島や、和紙伝承館においても展示・販売が行われている。



佐藤 有

[真誠会]

問 全国学力テスト調査の本市の結果は。

答 小学6年生は国語、算数、理科、中学3年生は国語、数学、理科の3教科で実施、他に児童生徒質問紙調査も実施され、家庭学習や読書時間は全国平均を上回っているが、一部を除き小・中学生共に学力は全国平均をやや下回っている。今後確かな学力を身に付けるため、学習状況調査の効果的な分析を活かし、授業改善に向け具体的な手だての構築とその実施について指導していく。

本市の全国学力学習状況調査の結果は

安達ヶ原周辺整備と三の丸御殿復元の計画は

問 観光振興について、安達ヶ原周辺整備と三の丸御殿復元の計画について伺う。

答 ふるさと村と安達ヶ原公園を一体的に散策できる園路の整備を完了した。また、黒塚周辺河川敷に国より無償で占用許可を受け、駐車場と芝生広場を整備し多目的な活用を図る。さらに村内に、安全で人気の高い遊具を設置する。戊辰の役150年の節目であり、二本松城のシンボル、歴史文化観光拠点施設として復元は重要な意義があり、復元について検討する。

市内の太陽光発電施設の設置状況は 再生可能エネルギー利用の条例制定を



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

- 問** 市内各地域毎の稼働施設箇所数と出力数は。
答 市は民間設置の太陽光発電施設の全てのデータを保有しておらず、経産省資源エネルギー庁で公開している市町村別データで、昨年末50kw以上の箇所数は33箇所、発電設備の出力数は55,568kw。地域別データは公表されていない。
- 問** 市内の施設計画箇所数と出力数は。
答 経産省データで昨年末設備認定済みで、運転を開始していないのは18箇所、出力数は45,895kw。

- 問** 原発ゼロを目指し、市民の財産である市内の自然資源を有効活用し再生エネルギーとして利用する。併せて持続可能な地域づくりを進めるため、市民の権利として「条例」を制定すべきでは。
答 再生可能エネルギーの推進と自然との共生、市民生活の安全安心の確保は密接に関わり合う重要な課題である。これの調和を図り地域資源活用理念、不適切な開発を抑制する方針等を盛り込んだ条例等は、今後調査・研究していく。



平栗 征雄

[市政刷新会議]

市文団連協議会の評価と作品保管の考えは

市内循環バス運行の協議の経過は

- 問** 名誉市民以外の文化活動に従事した市の著名人の作品も多く、それらを保管し、展示する場所があれば、市民ボランティアで協力したい団体もあるが、市長の考えを伺う。
答 基本的には教育委員会が所管であり、処々の作品が貴重であることは承知している。作品には作者の意が込められているし、保管することは必要と思う。総合的に判断、検討し互いに協議しながら進めていきたいと考えている。
- 問** 市民が求めているのは、公共交通料金の無料化

- ではなく、暮らしの中で自由に地域間交流が出来る交通手段・交通網である。考えを伺う。
答 高齢者が住みなれた地域でいつまでも暮らせる自立と安心のまちづくりを目指して、75歳以上の高齢者の積極的な社会参加を図るため、また免許返納者への支援を含め、高齢者の公共交通料金無料化の来年4月1日の開始を目指している。輸送手段の充実については利用者、市民の声を聴いて、地域公共交通活性化協議会とも十分協議していく考えである。

本市におけるLGBTの取組みは 市職員の障がい者雇用の状況は



小野 利美

[市政会]

- 問** 本市における同性パートナーシップ制度の導入について伺う。
答 現時点では制度の導入の考えはないが、今後、国や他自治体の動向を見守りながら検討していきたい。
- 問** 教育現場におけるLGBT対策について伺う。
答 該当する児童生徒の報告はないが、今後もすべての児童生徒の人権を守るための相談体制等を整えて、楽しく有意義な学校生活を送れるよう取り組んでいきたい。

- 問** 法定雇用率等、市職員の障がい者雇用状況について伺う。
答 市職員の障がい者数は、市長部局で6人、教育委員会部局が1人、法定雇用率は市長部局2.00%、教育委員会部局が2.99%となり、市長部局が法定雇用率を割り込んでいる。来年度新たに障がい者1人程度を採用することとしており、法定雇用率達成に向け定員管理に努めていく。



石井 馨

[無所属]

水道未普及地域への事業の進め方は

市道沿いの立ち木伐採への支援は

- 問** 水道事業の維持・継続についての取組みについてどのように考えているか。また、水道未普及地域への今後の事業の進め方はどのようなになっているか。
- 答** 水道施設の長寿命化を図り、料金の適正化により維持していく。水道未普及地域事業調査業務の結果を踏まえ、簡易水道の事業要件、上水道の収支見直しをもとに検討していく。

- 問** 市道沿いの立ち木伐採について、人口減少、高齢化の現状を踏まえどのような支援を考えているか。また、1級河川の堆積土砂撤去についての計画は。
- 答** 「道路・河川ボランティア活動支援事業」により使用する剪定ばさみ等の支給を行っている。作業困難な状況の場合、相談いただきたい。市内の1級河川の浚渫については、平成29年度から撤去を進めている。堆積状況により順次土砂撤去を行っている。

有害獣捕獲後の処理方法は

児童虐待防止対策に向けた市長の方針は



熊田 義春

[市政会]

- 問** 解体処理法の決定と今後の方向性は。
- 答** 鳥獣被害防止対策における県内共通の検討課題と捉えており、県と連携し「熱分解ガス化燃焼装置」と「微生物による分解処理装置」の先進事例等の現地視察結果を踏まえ、設置の可能性について、検討を進めている。今後も引き続き埋設地の確保に加え、本宮市、大玉村、安達地方広域行政組合及び実施隊と協議を進めていく。

- 問** 子どもの命がなくなるような痛ましい事件を起こさないために、児童虐待防止対策に向けた市長の方針は。
- 答** 子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援地域行動計画を策定し、その基本目標のひとつに「子どもの安全確保と要保護児童等への支援の充実」を掲げ、関係機関と連携し、要保護児童の早期発見、早期対応による一人ひとりの状態に応じたきめ細やかな支援と自立を促す取り組みを行っている。



本多 俊昭

[無所属]

土砂災害対策と洪水・水害対策は

福祉施策の拡充は

- 問** 土砂災害警戒区域に指定された住民に対する災害情報の伝達や避難勧告体制づくりについて伺う。
- 答** 基礎調査結果の公表、住民への回覧、説明会を開催し、避難勧告発令時には住民が自ら行動することを目標とし災害が起こりうる地域であることを知っていただく。今後も県と連携しながら説明会及び広報啓発を実施していく。
- 問** 二本松市あだたらクラブの加入状況と加入推進の支援について伺う。
- 答** 市全体で60歳以上の方が22,137人、加入者が3,638

- 人で加入率16.6%である。市老人クラブ活動費補助金交付要綱に基づき必要な経費を補助し、市福祉センターにおいて事務局を担当する人的支援をおこなっている。
- 問** ヘルプマーク・ヘルプカードの導入は。
- 答** ヘルプマークやヘルプカードが効果的に活用されるため、必要とする方に配付するだけでなく、一般の方への周知と理解を求める啓発活動も必要。災害時や日常生活においても活用いただけるものとして普及に取り組んでいきたい。

S D G s (持続可能な開発目標) の実現を

相次ぐ豪雨災害へ対策強化の実現を



小林 均

[公明党]

問 本市もS D G s先進自治体を目指し、今後策定する各分野の計画等の根底にその理念をおき、市民の意識啓発を進めるべきと考えるが。

答 S D G sは、まさに本市が目指す方向性と一致している。地方創生に繋げていくためにも、今後、調査・研究を進めていきたい。

問 地区防災計画作成の推進が重要と考えるが。

答 必要性は認識しており、今後自主防災組織の育成・強化を図る中で、推進していきたい。

問 ハザードマップについては、住民への周知、徹

底が必要と思うが。

答 現在、年度内完成を目指して土砂災害、火山災害、水害などを網羅した新しいハザードマップを策定中であり、完成後は、全戸配布し、地域での説明会等により、注意喚起を図る。

問 台風や豪雨による大規模水害に備えるため、事前に取り組むべき対応を時系列でまとめたタイムラインの導入は。

答 ハザードマップ作成を進め、危険箇所を明確化した後、タイムライン策定を検討していく。



野地 久夫

[市政刷新会議]

高齢者の公共交通運賃無料化の実施方針は

上水道未普及地域の拡張計画の考え方等は

問 無料化の目的、対象交通機関は。

答 75歳以上の高齢者の足の確保と積極的な社会参加、公共交通機関の利用促進、運転免許証の自主返納を支援する。福島交通、協和交通の市内路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、ようたすカーが対象で、区間は二本松市域内である。

問 各公共機関との調整内容は。

答 制度内容、無料化の手法、利用者増の対応、利用者実績の説明等について今後進める。

問 平成24年度及び本年度の水道未普及地域事業調査の目的、内容は。

答 平成24年度は主に石井地区と下川崎地区を対象とし、本年度は24年度に加え、塩沢、馬場平、吉倉、長折地区等を対象に水道施設整備事業の実現性を調査する。給水区域、給水人口及び給水量による給水原価等の調査で財政計画を検討する。その結果を踏まえて今後の事業の在り方を検討していくことになる。

二本松電力の構想と安価な電力とは

放射能除染事業の状況は



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

問 市が考える「市民電力会社」の構想は。またどのような形で市が関与するのか。安価な電力を供給するためのシミュレーションは。

答 環境対策や新たな地域活性化策としてエネルギーの地産地消を目指し(仮称)二本松電力を創設、市としては出資等を通して経営に参画していき、市民の理解促進事業や公共施設の貸し出し等で支援をしていく。将来的には電力の小売り事業への参入を検討していくと共に、発電設備、管理コストを抑制し、大手電力会社にはな

い強みを活かして安価な電力供給を目指す。

問 現在保管されている汚染土の数及び今後の輸送計画と再生利用実証事業の現在の状況は。

答 現在340,000袋が218箇所保管、平成27年度から43,787袋は輸送完了、今年度50,000袋の輸送を計画。環境省は次年度以降輸送量を倍増し33年度には完了の見込み。実証事業は、環境省に確認したところ今年度事業の受注者と契約解除に向け調整中であり、事業計画については再検討中である。



佐藤 運喜

[市政刷新会議]

しんきん城山プールの利用状況と今後は

太陽光発電の農地利用の現実性と将来性は

問 二本松しんきん城山プールの年間利用人数と利用率の向上のためのイベント導入の計画は。また、事故防止等の対応は。

答 平成29年度年間利用実績数は80,681人。ナイトプール実施後はSNS書き込み等が多くPRにつながった。今後のイベント実施や事故防止等を、月1回の定例会議でさらに働きかけを行なっていく。

問 本市において農地転用と休耕地の再開は現実的に可能か。また（仮）二本松電力に農家や

市民が出資をして、将来、両者とも経営が成り立つのか。

答 国では6月に「未来投資戦略2018」において農地の有効利用、営農型太陽光発電を推進するとした。また農地の一部転用許可取得が必要で一部条件に合わない場合も想定される。借地賃料を支払い農地の下部では営農収益を想定しており、さらに発電余剰電力を売電することにより両者共に経営が可能であると考える。

介護保険総合事業の実施状況は

小中学校の各種大会、行事の見直しは



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 要支援者や要介護者に該当する人かをチェックする、基本チェックリストの実施状況は。

答 要介護・要支援認定が非該当になった方のみ、基本チェックリストによる判定を実施。新規相談者には行っていない。

問 ケアマネジメントによる利用制限は。

答 対象者の意思を尊重しつつ、心身の状況、置かれている環境等に応じて行っており、本人の意思に反するような自己努力や利用制限はない。

問 小中学校の各種大会、行事への参加要請は、見

直しを含め十分検討すべきでは。

答 今後は、教科等の時数増加を踏まえ、教職員が子どもと向き合う時間の確保を視野に入れ、児童生徒の負担軽減等を考慮し、開催可否も含め検討していきたい。

問 特別支援学校早期開校に向けた取り組みは。

答 7月11日の懇談会に示された候補地に同意を得た。県教育委員会は、候補地の具体的な検討も含め、今後、現地調査等を実施しながら計画案作成することで進めている。



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

安達駅西地区整備事業の今後は

市税滞納の状況は

問 今後の整備スケジュールは。

答 安達駅から福岡までの延長460m、幅員14mで、平成29年度から実施設計を進めている。今年度から国の補助事業、社会資本整備交付金により、用地測量、不動産鑑定、物件補償調査を行い、平成31年度から用地買収に着手。完了後に工事に着手したい。大雨時の排水対策も検討している。今後、実施設計がまとまった時点で再度説明会を開催する。

問 平成29年度決算における収入未済額、不納欠損の実人数及び差押えの実態は。

答 市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税で収入未済額が7億440万円、実人数が4,848人。不納欠損額が3,346万円、実人数が427人。固定資産税が全体の75%以上を占め、借入金の返済が優先され、納税が滞る事例が多い。差押えの実人数は432人で税額が16億6,126万円。実際の換価（入金）額は2,035万円である。

9月定例会賛否一覽

※これ以外の案件等は全会一致で認定・可決されました。

番号	件名	議決結果	市政刷新会議					真誠会			市政会		日本共産党 二本松市議団		会派に 属さない議員				賛 成	反 対					
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	斎藤 徹	平栗 征雄	佐藤 源市	平塚 興志一	佐久間 好夫	佐藤 有	坂本 和広	堀籠 新一	安齋 政保	小野 利美	熊田 義春	斎藤 広二	菅野 明			平 敏子	石井 馨	加藤 建也	本多 俊昭	小林 均
議案第89号	平成29年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第90号	平成29年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第91号	平成29年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第92号	平成29年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第109号	二本松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第110号	二本松市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第111号	二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員に係る基準、指定地域密着型サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第112号	二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第113号	二本松市介護保険法に基づく指定介護予防支援事業者の指定の要件並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第114号	二本松市介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第117号	平成30年度二本松市一般会計補正予算	原案可決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	7	

※○は賛成、●は反対。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

議案第117号 平成30年度二本松市一般会計補正予算

賛成

佐藤 有 議員

全国的に高齢者が増加するなかで車社会と共に繁栄してきた我が国であり、高齢者が運転する車両による交通事故が多発する中で、運転免許証自主返納により高齢者の社会活動参加や医療機関等への通院など利便性が欠けている。

高齢者が安心して暮らせる社会実現のため、高齢者に対する施策は最重要であり、今回の公共交通運賃の無料化によって公共交通の利用促進も図られ、地域の活性化にも繋がるものと考えられ賛成する。

賛成

菅野 明 議員

住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう、高齢者の積極的な社会参加と公共交通の利用促進を図るため、また、運転免許証を自主返納した高齢者を支援するため、公共交通の運賃無料化を進める補正予算に賛成する。

私たち市議団が3月に取り組んだ「市民アンケート」でも「コミュニティバス・路線バス等の無料バス」を求める声が多かった。市内どこに住んでいても、安心して通院や買い物等が出来るよう「無料化」が待たれている。

9月定例会
討 論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。

反対

野地 久夫 議員

高齢者の公共交通運賃無料化事業に対し①事業の進め方に市民のニーズや公共交通活性化協議会等の機能が全く反映されていないこと、使い勝手の良さや乗り継ぎの良さなど、関係機関の協議もされていなく利用者の要望も反映されていないこと。②事業実施による旅客運送事業者の経済的影響緩和策がなされていないこと。③高齢者運転免許証自主返納対策が希薄なこと。以上、不備な点があり直ちに改善すべきであり反対する。

議案第89号 平成29年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定及び議案第90号・議案第91号・議案第92号

反対

斎藤 広二 議員

マイナンバーへの国庫補助がゼロになり、各証明のコンビニ交付には1件当たり2.6万円の経費。市長等3役と市議の期末手当を2年続けて引き上げた。国保税が前年比8.3%値上げされ負担は限界。後期高齢者の保険料軽減額が5割から2割に下がり、914人が負担増に。高額介護サービスの限度額が7,200円上がり大幅な負担増となった。こうした実態は、国が高齢化に伴って増加する自然増の予算を、毎年1千数百億円削減してきたことによるもの。

議案第109号二本松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について及び議案第110号・議案第111号・議案第112号・案第113号・議案第114号

反対

平 敏子 議員

マイナンバーの利用を、子どもの医療費助成、重度心身障がい者医療給付に適用拡大は情報流出のリスク拡大になる。

家庭的保育事業の代替保育提供先を、小規模保育所まで拡大、家庭的保育事業の食事体制を緩和するもの。

介護保険法改正では、医療との一体改革で、病床削減の受け皿としての介護医療院創設。介護と障がい福祉の一体改革での「共生型サービス」。社会保障の「自然増」分徹底的に圧縮、医療費・介護給付費を恒常的に削減する仕組み。

杉の実女性セミナー 桑野一子さん

杉の実女性セミナーの活動の一環として、傍聴に参加しました。

今回は地元の議員さんの一般質問ということで楽しみにしておりました。質問の内容も、老人クラブや婦人会の現状、また今後市がどのように関わっていくのかということで、大変私達に身近なものでした。

婦人会の果たす役割の重要性と、なくてはならない団体であることが伝わってきました。市の答弁も私達の活動を真剣に受け止め、今後の活動の継続に期待し、引き続き支援をしていくとの内容でした。とても力強く感じ、今後の活動の励みとなりうれしかったです。



9月10日 杉の実女性セミナーのみなさん



9月10日 はつらつ健康教室のみなさん

次回の定例会は12月上旬開会の予定です。皆さまお気軽に傍聴においでください。

市議会ウェブサイトでも市議会の活動や予定をご覧いただくことができます。

市議会だよりや市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1
TEL 55-5143 (議会事務局) FAX 22-6047
E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



この度の議員改選に伴い、議員から選任する監査委員について、平塚與志一議員を全会一致で同意しました。

○二本松市監査委員選任の同意について

油井字砂田地内の安達支所周辺整備用地651㎡を518万5,215円で取得することについて、全会一致で原案可決しました。

○財産の取得について

7月臨時会は、7月20日に開催され、2件の議案が提出されました。議案及び審議の結果は次のとおりです。

第5回(7月)臨時会

お気軽にご参加ください!

第2回議会報告会を開催します



今年は6カ所で開催!

市民の皆様に
市政や議会の活動状況をお知らせします!

市民の皆様からの
ご意見やご提言を
いただきます!

内容

議会活動報告

9月定例会における議案等の審議内容や議会の活動状況など

意見交換

市政全般や議会についての意見交換

皆さんからのご意見やご提言をお聞かせください。
多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております!

日 程	対象地域	会 場	出席議員 (担当班)
11月19日 (月) 午後6時30分	二本松地域 (二本松・塩沢)	二本松住民センター 3階 第1会議室	◎熊田 義春 ○佐藤 運喜 堀籠 新一 鈴木 一弘 斎藤 広二
11月20日 (火) 午後6時30分	安達地域	安達公民館 1階 集会室	◎本多 俊昭 ○平塚與志一 佐久間好夫 平 敏子 平栗 征雄
11月21日 (水) 午後6時30分	二本松地域 (岳下・杉田)	岳下住民センター 2階 研修展示室	◎熊田 義春 ○佐藤 運喜 堀籠 新一 鈴木 一弘 斎藤 広二
11月21日 (水) 午後6時30分	岩代地域	岩代公民館 2階 大会議室	◎安齋 政保 ○加藤 建也 斎藤 徹 佐藤 有 菅野 明 佐藤 源市
11月22日 (木) 午後6時30分	二本松地域 (石井・太平)	石井住民センター 2階 会議室	◎本多 俊昭 ○平塚與志一 佐久間好夫 平 敏子 平栗 征雄
11月22日 (木) 午後6時30分	東和地域	東和文化センター 2階 研修室	◎小野 利美 ○石井 馨 坂本 和広 小林 均 野地 久夫 本多 勝実

※ 議会報告会の時間は、概ね1時間30分を予定しております。

(◎：班長 ○：副班長)

※ お住まいの地域以外の会場でも参加できます。

編集委員会
委員長
副委員長
委員

佐藤 運喜
石井 馨
平井 敏子
佐久間好夫
斎藤 徹
坂本 和広



これから私達が編集します

編集後記

哀鳴啾啾：田んぼの稲の切り株と虫の鳴き声に、淋しさと季節の変わり目を感じます。

今年は、少雨・猛暑等の異常気象の影響が、今でも農作物や各分野にまで及んでおり、例年以上に、実りの秋に感謝の思いです。

さて、歴史と菊のまち二本松は、現在菊人形開催のほか、戊辰150年特別企画展や高村智恵子の記念事業を開催中です。これらを機に、本市の一層の飛躍を望むところです。(運)